

平成 27 年度福祉教育セミナー小地域版

《地域で共に生きるための福祉》

多摩川あゆ工房に 行ってみよう！



日時：平成 27 年 11 月 6 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場所：社会福祉法人なごみ福祉会 『多摩川あゆ工房』
参加者：12 名



— 次 第 —

司会：平野委員・入木田委員

- 1 開会・趣旨説明 宮地副委員長
- 2 施設長挨拶 飯島施設長
- 3 施設紹介 鵜飼主任
- 4 施設見学 2グループに分かれて施設内を見学
※1グループ（鵜飼主任）2グループ（森山委員）
- 5 話題提供 利用者 5名
- 6 グループ懇談・報告 3グループに分かれて実施
※各グループに利用者、福祉教育推進委員が参加
- 7 まとめ・アナウンス 高木委員長
- 8 閉会 天笠委員



趣旨説明

宮地副委員長

福祉教育推進委員会では、区域版セミナーと小地域版セミナーを実施しており、本日は小地域版セミナーとして、この中野島地域で、社会福祉法人なごみ福祉会『多摩川あゆ工房』のご協力を得て開催いたします。

このセミナーは福祉に関心を持ってもらい、福祉についての理解者や支援者を増やし、施設と地域の繋がり作りの一助となることを目的として開催します。本日は施設見学だけではなく、グループワークで他の方と意見交換しながら自分自身で考えてもらうきっかけ、そして地域にこんなところがあったんだということを知っていただく機会になればと思います。



施設長挨拶

飯島施設長

『社会福祉法人なごみ福祉会』は、30年以上前に多摩区に誕生しました。稲田堤にある「なごみ保育園」が、最初にできた事業所です。21年前に「多摩川あゆ工房」ができました。最初は、中野島地域に馴染みがありませんでした。しかし、障害のある人も無い人も交じって地域で生きることを目指す、というのを理念に掲げているので、地域に積極的に関わるように努めました。毎年ここで「あゆまつり」を開催し、500名程度の方にご参加いただいています。また、中野島町会運動会にも10年程参加しています。

20年前、この地域に事業所は「多摩川あゆ工房」しかありませんでしたが、3年前には「パーラの家」というグループホームを開所し、2年前はグループホーム「ぐっすり」、今年の4月にはグループホーム「わさび」が誕生しました。これらのグループホームは、日中を過ごすだけではなく、地域で暮らすための環境が整っています。

本日は、見学や話を聞いて頂く機会をいただき、大変嬉しく思います。まったく障害を知らない方から見ると、何か変わっている人がいるように見られますが、



「多摩川あゆ工房」ではこんなことをしていたよ、ということをして、本日参加していただいた皆様から、周りの方に伝えていただければと思います。

以前、ボランティアの方から、「地域で生きるといっても、町会にも入っていない地域に全然関わっていないじゃないか」というご指摘をいただき、その通りだと思いました。現在は、先程お話した通り積極的に地域に出ていくよう努めています。地域の方に「多摩川あゆ工房」に入っていただく、というのも大切だと考えています。

この機会にぜひ、「多摩川あゆ工房」を知っていただければと思います。

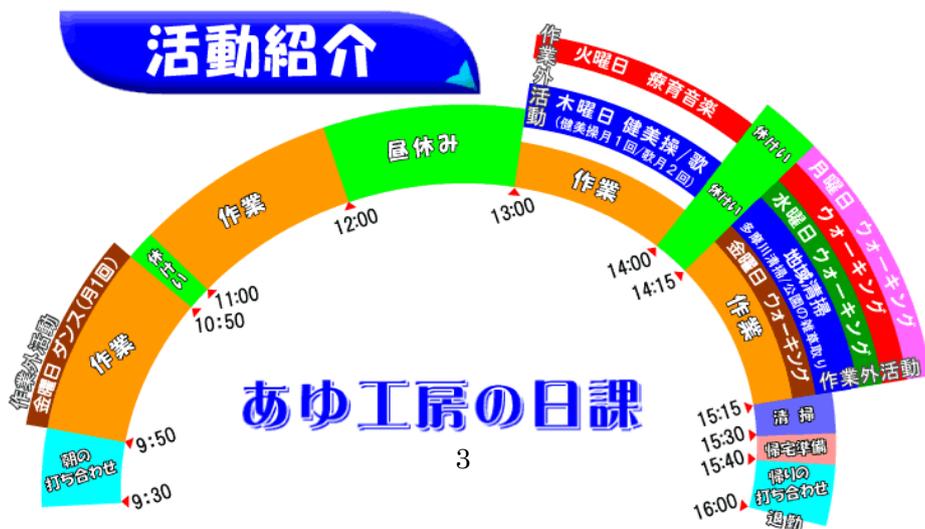


鷓飼主任

『多摩川あゆ工房』は 1995 年に開設し、当初は知的障害者を対象とした定員 45 名の施設でした。現在は分場も併せると定員 60 名で登録者は 75 名なので、利用者数が定員の 125%という状態で活動しています。当時は焼き菓子と木工製品の製造をしていましたが、木工製品は販売するのが難しくなり、現在は製菓班の他に下請けの作業を行う室内作業班、外作業としては園芸班、ポスティング班、古紙やアルミ缶を回収するリサイクル作業班、草刈り班があります。その他、3 年前に開所した分場では、施設等の清掃を行っています。この清掃作業は、清掃以外にも 3・4 ヶ月に 1 度床にワックスをかける等、他の業者に負けない質で提供しており、工賃も他の事業所と同程度いただいています。このように専門的な清掃作業を行っている施設は、『多摩川あゆ工房』くらいかと思います。



午前中は、今ご紹介したように各自作業を行い、午後は作業を行うか、作業外活動として療育音楽やウォーキング、健美操等から、利用者がそれぞれ好きなように選択することで、利用者に添った日常生活を提供しています。





施設見学

鷓飼主任・森山委員

2つのグループに分かれて、グループごとに1階フロア及び2階フロアを交互に回り、施設内や室内作業の様子等を見学しました。

焼き菓子班



室内作業班



食堂



作業紹介

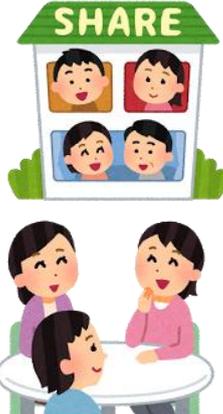


話題提供

『グループホームとわたし』

『みんなに見てほしいこと』

フラダンス 涙そうそう



『目標を持って達成する喜び』

頑張ったチラシ配り



『どうでもいい話♪』



『セブンイレブンのおでんと僕』





多摩川あゆ工房で作っている美味しいクッキーを食べながら皆で交流しました。



ゆりグループ

ゆりグループには、今日初めて多摩川あゆ工房に来た人が3名いた。施設見学や話題提供を通じて、各部署が責任を持って仕事をしているのが伝わった。今日ここに来るまで、古紙やアルミ缶等を回収していることも、クッキーがとても美味しいことも知らなかった。新たな発見があった。地域の方に声をかけて、積極的にボランティアに参加していきたいと思った。楽しませてもらい、感謝している。



ひまわりグループ

今までたくさんの施設を見学したが、利用者さんの発表を聞いたり、直接交流



したりできて、今までの中で一番楽しい施設見学だった。話し合いの中で、私たち一人ひとりが「自分に何ができるのか」という視点で考えることが大事なのではないか、というのが一つの結論として出た。施設見学をするならば、一方的に見学するのではなく、交流の場を作り、何か一つのことを一緒にやりたい。このような形のセミナーを、今後も是非実施してほしい。





すずらんグループ

本来ならば、ここに来てどう思ったか、ボランティアを増やすにはどうすればいいのか、というようなことを話すべきなのかもしれないが、利用者さんとのお話が楽しく、ついたくさん質問してしまいました。このような交流を楽しむ所から始まり、相手を理解することで、じゃあボランティアをやってみよう、となるのかなと感じた。今回初めて参加したが、とても楽しかった。



まとめ

高木委員長

本日はお疲れ様でした。

福祉教育推進委員会では、区域版という多摩区全域を対象としたセミナーを1回、小地域版という多摩区内の5地区（登戸・稲田・中野島・菅・生田）の内1地区を対象に絞ったセミナーを1回、年間で合計2回のセミナーを行っています。小地域版のセミナーを開始したのが今から5年前で、中野島地区から始まったので、丁度地域を1周したことになります。この小地域版セミナーは、施設や障害者についての理解を深めるためのものではありません。

今日フラダンスを踊ってくれた〇〇さんってどんな人？という視点で、交流したその人自身を理解していただきたくために、実施しています。今日お伝えしたかったのは、地域の方に、施設に来てお手伝いをしてほしい、ということではなく、今日交流した利用者さんにどこかでお会いした時には、是非声をかけていただきたい、ということです。それが、このセミナーの趣旨にもなっている『地域の中で暮らす』ということだと思います。

今回のセミナーを通して、皆様は「相手のこと知る」というのが「少し」できたのかな、と思います。「少し」という表現をした理由ですが、今回の交流は、皆様から利用者さんに質問し、話しかけるという一方通行なものでしたね。今度は一方的に理解するのではなく、自分のことも理解してもらえるように、今日のセミナーだけ終わらせず、今後も交流していただければと思います。

本日、グループワークの際に皆さんがお話していることを聞いて回りましたが、「交流を大切にしていきたい」という声が、どのグループからも挙がっていました。今回のセ



ミナーは、《地域で共に生きるための福祉》という趣旨なので、交流することの大切さに気づいていただけたことを嬉しくと思います。ボランティアというのは、「施設に来て何かをやる」だけではないということ、今後も皆さんと一緒に考えていければと思います。



閉会

天竺委員

本日は福祉教育セミナー小地域版に参加していただき、ありがとうございました。今回のセミナーを通して、多くのことを知っていただくきっかけ、そして地域にこんなところがあったんだということを知る機会になればと思います。来年は対象となる地区は変わりますが、是非また来ていただければと思います。

気を付けてお帰りください。



平成27年度 福祉教育セミナー小地域版 アンケート結果

H27.11.6

1 ご自身についてお教えてください。(○を付けてください。)

性別		年齢層						
男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
3	6	0	1	0	0	2	3	3

2 所属団体があればお教えてください。(○を付けてください。)

個人	地区社協	民生委員	町会自治会	ボランティア	保育関係	学校関係	PTA	その他
1	6	4	0	1	0	0	0	1 (手話サークル)

3 このセミナーは、どのようにしてお知りになりましたか。(○を付けてください。)

町会回覧	町会掲示板	ホームページ	知人の紹介	団体への案内	機関の窓口	その他
0	0	0	4	4	0	1 (サークル内でのお知らせ)

4 今回のセミナーでの施設紹介や施設見学を通じて感じたことや考えたこと、学んだこと、関係者へのメッセージなどがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・交流することの大切さや楽しさを経験できました。
- ・施設も利用されている方々も身近に感じられました。
- ・利用者の皆様の一生懸命さ、真面目さに感心しました。
- ・ただの施設見学ではなかったところがとても良かったです。特に、見学だけではなく、利用者の方々との交流があった所が目新しく感じ、とても楽しく感動しました。
- ・利用者の方の生き生きと楽しそうに過ごされている姿を見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。利用者の方の発表がおもしろかったです！フラダンスに感動しました。

- ・利用者の方とのふれあいがあり、有意義な時間を過ごすことができました。自分にできることは何か、常に意識して活動したいと思います。
- ・5名の利用者さんの発表で、話を聞いたりフラダンスを見ることができて、とても素晴らしいと思いました。たくさんの学びがありました。
- ・利用者の方々の発表にふれ、今まで知らなかった皆さん方の能力に感動してしまいました。
- ・このようなセミナーに参加するのは初めての経験でしたが、皆さん各部署で頑張っている姿を拝見し、パワーをいただきました。

5 グループ懇談を通じて感じたことや考えたこと、学んだことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・互いに気づいたことから始めるのもボランティアだろうという意見が合致しました。
- ・「多摩川あゆ工房」を、もっと多くの方に知ってもらいたいと強く思いました。
- ・私たちに何ができるのか、まずは知ること、知ってもらうことが大切だと分かりました。これから交流会やお祭り、バザーなどの催し物がある時は友人を誘って参加したいと思います！
- ・交流の場づくりの大切さを学ばせて頂きました。これからの課題として常に考えていきたいと思えます。
- ・地域の中でも知らなかったことを知る事ができたり、関心をもって参加している人に出会えたりして、有意義な時間を過ごすことができました。
- ・とてもよい勉強になりました。
- ・働いている方々がとても明るく、また、発表がとてもユニークで楽しかったです。

6 皆さんが日常の中で感じる福祉について、今後のセミナーで取り上げて欲しい、聞いてみたいといったものがございましたら、ご自由にお書きください。

- ・交流の場を作って欲しい。
- ・最後の統括にて、一人一人がお互いに顔と名前を知ることが「共に地域で生きる」ということだと聞き、改めて考えさせられました。参加させて頂きありがとうございました。
- ・普段の生活でできる福祉（こと）について知りたいです。
- ・アルミ缶や古紙をできるだけお声がけして集めて、回収していただき、一步步交流を兼ねて貢献していきたいです。